

令和 7 年度 上三川町立小中学校における学校の働き方改革に関する報告

1. 現状と課題: 超過勤務の状況

上三川町では、教職員の長時間勤務の是正を優先課題としています。

- ・ 超過勤務の改善: 月 45 時間を超える超過勤務については、昨年度は全体で 36%、今年度は 34%であったことから、2%の改善が見られました。
- ・ 校種別の状況: 月45時間を超える超過勤務の状況は、小学校が 34%、中学校は 39%となっています。
- ・ 健康管理: 令和7年度のストレスチェックにおける高ストレス者の割合は 5.8%となっており、メンタルヘルス対策も継続的な課題です。

2. 主な取組と成果

町教育委員会および各学校では、以下の取組により教職員の負担軽減を図っています。

① 教育委員会による支援体制

- ・ 教員を支えるスタッフの配置: 教員の事務作業の一部を担う「教員業務支援員」を全小中学校の 8 割に配置し、授業準備や印刷業務等のサポートを行っています。また、小学校に英語専門指導員を配置し、専科指導を推進し、担任の空き時間を創出しています。
- ・ 部活動改革: 指導員・補助員の任用継続に加え、一部の部活動(サッカー部・陸上部)で地域展開を推進しています。

② 各学校における業務効率化の工夫

- ・ ICT の徹底活用: 採点支援ソフトの導入による集計業務の削減や、Google Classroom を用いた職員間連絡、行事資料のペーパーレス化が進められています。
- ・ 教育課程と日課の見直し: 予備時数の削減による放課後時間の確保や、下校時刻の 10 分繰り上げ、冬期における一斉早帰り日課の実施など、具体的な時間創出に取り組んでいます。
- ・ 意識改革と組織づくり: 「18:30 までの退勤目標」の設定や、管理職による積極的な声かけ、心理的安全性を高めるための面談の実施により、早く帰りやすい雰囲気づくりを進めています。

3. 今後の目標(令和 8 年度～12 年度計画)

「業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づき、以下の達成を目指します。

- ・ 数値目標: 月 45 時間を超える教職員を 0%にすること、および高ストレス者の割合を 5%まで減少させることを掲げています。
- ・ 重点施策: 教員業務支援員の全校配置を完了させるとともに、休日の部活動の地域展開を全部活動で実現することを目指します。また、11 時間を基準とする勤務間インターバルの確保や、連続した年次有給休暇の取得推進により、教職員の健康を守り、教育の質を維持・向上させていく方針です。